

HFSP第12事業年度長期フェローシップ助成対象者（仮訳）

分子分野 名前	国籍	現所属	受入先	研究テーマ・指導教官等	
1 BRUKNER Katja	独	EMBL (ハイデルベルグ)	独	ハーバードメディカルスクール (ボストン)	米 ヨウジヨウバク菌における気管発生の細胞生物学的局面 (Norbert PERRIMON)
2 MAY Robin C.	英	ハーミンガム大学	英	ユトレヒト大学	蘭 C.elegansにおけるRNA取込みのメカニズム (Ronald H. A. PLASTERK)
3 ECHARD Arnaud	仏	キューリ-研究所 (パリ)	仏	カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	米 ヨウジヨウバク菌において、分裂事象の進行を調節するリン酸化状態にある タンパクの同定 (Patrick O'FARRELL)
4 LEE Soo-Kyung	韓	キョンナム国立大学	韓	カリフォルニア大学 ラホーヤ校	米 RESTが仲介する抑圧におけるN-CoRの役割 (Michael G. ROSENFELD)
5 SUTANI Takashi	日	京都大学	日	ハーバード大学 (ケンブリッジ)	米 姉妹染色分体結合の分子メカニズム：非SMC結合タンパクの構造研究 (Stephen C. HARRISON)
6 FRISCHKNECHT Friedrich	独	EMBL (ハイデルベルグ)	独	バースツール研究所 (パリ)	仏 Plasmodium Sporozoitesのすべり運動および細胞侵入に依存するTRAPの解離 (Robert MENARD)
7 LI Su	中	ワタ大学 (ウルトレクシティ)	米	MRC分子生物学 研究所 (ケンブリッジ)	英 酵母菌S.cerevisiaeの紡錘極体の構造研究 (John V. KILMARTIN)
8 NISHIMURA Hiroyuki	日	京都大学	日	ハーバード大学 (ケンブリッジ)	米 ヒト尋常性天疱瘡のマウスモデルの創出 (Jack L. STROMINGER)
9 BRAND Marjorie	仏	ULP/CNRS/INSERM	仏	フレッド・ハッチソン 癌研究センター(ワシントン)	米 ヒト グロビン座での長範囲の転写制御に関する分子上の分析 (Mark T. GROUDINE)
10 BLAGOVESHCHENSKAYA Anastasiya	露	MRC分子細胞生物 学研究所 ロンドン大学付属カレッジ 東京大学	英	オレゴン健康科学大学 (ポートランド)	米 統制された分泌小器官の生物発生およびエキソサイトーシスにおける仕分け連結 者のPACSファミリーの役割 (Gary THOMAS)
11 OGASAWARA Koetsu	日	東京大学	日	カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	米 NK細胞機能におけるITAM受容体の分析 (Lewis L. LANIER)
12 LUSCHNIG Stefan	独	マックスプランク発達生物 研究所 (チュービンゲン)	独	スタンフォード大学 医学校	米 ヨウジヨウバク菌の気管系における形態発生期間の遺伝子発現プログラムの分析 (Mark A. KRASNOW)
13 MA Ligerig	中	河北普通大学 (シチアチアウ)	中	エール大学 (ニューヘブン)	米 ゲム発現プロファイルによる保存されたCOP/DET/FUS遺伝子に対する理解 (Xing-Wang DENG)
14 WATANABE Reika	日	大阪大学	日	ハーセル大学	スイス 酵母菌においてGPIを固定したタンパクの細胞内輸送 (Howard RIEZMAN)
15 KIM Do-Hyung	韓	Pohang科学工科大学	韓	ホワイトヘッド生体医学 研究所(ケンブリッジ)	米 ウイルス侵入プロセス期間中のHIV-1 gp41の構造変化の特徴づけ (Peter S. KIM)
16 RAVEH Tal	イスラエル	ワイズマン科学研究所	イスラエル	タナファーバー-癌研究所 (ボストン)	米 上皮性ガンの発病における末端小粒の動力学 (Ronald DePINHO)
17 OTOMO Takanori	日	大阪大学	日	スローン・ケタリング記念 癌センター(ニューヨーク)	米 in vivoにおいてGTPaseシグナリングのリアルタイム画像化のためのセンサー-開発 (Michael K. ROSEN)
18 BOISBOUVIER Jerome	仏	CEA/CNRS (グルノーブル)	仏	NIDDK/NIH (ベセスタ)	米 液晶および相互相関NMRを用いた、核酸塩基体合に関する構造および動力 学の特徴づけ (Adrian BAX)
19 MORITA Yasuhiro	日	ジョンホプキンス医学校 (ボルチモア)	米	メルボルン大学	豪 ミコバクテリアの細胞壁の糖脂質の生合成および機能 (Malcolm J. McCONVILLE)
20 PATTON E. Elizabeth	加	マウント・サイナイ病院 (トロント)	加	小児病院 (ボストン)	米 セブラフィッシュにおける細胞周期とガン遺伝経路 (Leonard I. ZON)
21 NA Soon-Young	韓	キョンナム国立大学	韓	マサチューセッツ総合病院 (ボストン)	米 NF-kB活性化を引き起こす新規分子の同定 (Braian SEED)
22 GAUTREAU Alexis	仏	キューリ-研究所 (パリ)	仏	ハーバード医学校 (ボストン)	米 N-WASP配座転換におけるCR16のアクション重合の役割 (Marc W. KIRSCHNER)
23 GERBER Andre	スイス	ハーセル大学	スイス	スタンフォード大学	米 DNAの極小配列と相互作用のあるRNAタンパクの同定 (Daniel HERSCHLAG)
24 DEKKER	蘭	ハーバード大学	米	一般高等学校	仏 DNAとタンパクとの相互作用に関する単一分子研究

HFSP第12事業年度長期フェローシップ助成対象者（仮訳）

Nynke 25 GIL Jesus	スペイン	(ケンブリッジ) マドリード大学	スペイン	(ハリ) ロンドン大学付属カレッジ	英	(David BENSIMON) p16INK4A 腫瘍抑制剤の調節
26 MARTY Thomas	スイス	バベル大学	スイス	ニューヨーク大学医学校	米	(David H. BEACH) シヨウジヨウバク生殖細胞の経上皮移動に関する分析
27 NOTON Elizabeth A.	英	王立ガン研究財団	英	マサチューセッツ総合病院 (ホストン)	米	(Ruth LEHMANN) 哺乳動物の体内時計の出力遺伝子の同定
28 NAGAR Bhushan	加	トロント大学	加	ロックフェラー大学 (ニューヨーク)	米	(Steven M. REPPERT) Ablキナーゼの構造および機能に関する研究
29 MIZUGUCHI Mineyuki	日	北海道大学	日	スクリップス研究所 (ラホーヤ)	米	(John KURIYAN) アポプタシスシグナルの量み込みに対するリアルタイム2D NMR研究
30 ROEPER Katja	独	ハイデルベルグ大学	独	ウエルカム/CRC研究所 ケンブリッジ大学	英	(Peter E. WRIGHT) インテグリンが仲介する接着に関与する細胞骨格リコカであるkakapoの特徴づけ
31 KTISTAKI Eleni	ギリシャ	分子生物学・バイオテック 研究所	ギリシャ	国立医学研究所 (ロンドン)	英	(Nicholas H. BROWN) hCD2 LCRにより形成される多分子複合体の特徴づけ
32 MOSTOSLAVSKY Raul	アルゼンチン/ イスラエル	ブライ大学	イスラエル	小児病院 (ホストン)	米	(Dimirris KIOUSSIS) 重鎖座での遺伝子閉鎖
33 NUSSBAUM Alexander	独	エーベルハルト・カールス 大学(チュービンゲン)	独	スクリップス研究所 (ラホーヤ)	米	(Frederick W. ALT) クラス MHC限定エピトープと関連するCD8+T細胞反応の優性/次点を決定する因子
34 DERRE Isabelle	仏	パストゥール研究所 (ハリ)	仏	ワッツ大学医学校 (ホストン)	米	(J. Lindsay WHITTON) レゾネンチン-ニューモフィラのドット・コンプレックスに関する研究
35 EL NEMER Wassim	レバノン	INSERM ハリ大学	仏	カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	米	(Ralph R. ISBERG) インテグリン・グロブリンの分子メカニズム
36 SRAYKO Martin	加	カルガリー大学	加	マックスプランク分子細胞 生物・遺伝研究所	独	(Eric Joel BROWN) C.elegansとC. Xenopusにおいて微小管の動力学を調節する新規タンパク
37 FERGUSON Andrew D.	加	マギル大学 (モントリオール)	加	テキサス・サウスウエスト大学 医療センター(ダラス)	米	(Anthony A. HYMAN) HMG-CoA還元酵素のステロイド検出ドメインの結晶構造
38 TUGARINOV Vitali	イスラエル	ワイズマン科学研究所	イスラエル	トロント大学	加	(Johann DEISENHOFER) 二量体P53タンパクおよびDNAとの相互作用に関する構造研究
39 LAUVAU Gregeire	仏	INSERM	仏	スローン・ケタリング記念 癌センター(ニューヨーク)	米	(Lewis E. KAY) 細菌感染へのT細胞反応に対する先天性免疫の効果
40 DURRANT Wendy	英	ジョン・アイネスセンター (ブリッジ)	英	デューク大学 (ダラム)	米	(Eric G. PAMER) 全身性獲得耐性の調節に関するSNIIおよび関連するタンパクの特徴づけ
41 PALATNIK Javier	アルゼンチン	ロサリオ大学	アルゼンチン	ソーク生物学研究所 (ラホーヤ)	米	(Xirriar DONG) 花の発育における胚デザイン遺伝子の役割
42 WILKINS Andrew	英	MRC分子生物学 研究所(ケンブリッジ)	英	ヘス・イスラエル慈善 病院(ホストン)	米	(Detlef WEIGEL) アクチン重合の調節におけるホスファチジル-4-リン酸5-キナーゼの役割
43 PRALLE Arnd	独	EMBL (ハイデルベルグ)	独	カリフォルニア大学 バークレー校	米	(Christopher CARPENTER) 単一分子蛍光分光分析法により研究した、イオンチャネルの構造と機能の関係
44 VERKADE Heather	豪	メルボルン大学	豪	カリフォルニア大学 サンフランシスコ校	米	(Ehud Yeheskel ISACOFF) ゼブラフィッシュの腸管発生における内胚葉細胞の移動
45 MILKEREIT Philipp E.	独	ハイデルベルグ大学	独	ボーン・サバチエ大学 (ツールーズ)	仏	(Didier STAINIER) 核の段階でのリソソーム発生に関与する新クラスの真核細胞タンパクの特徴づけ
46 CHEN Taiping	加	マギル大学 (モントリオール)	加	マサチューセッツ総合病院	米	(Nicole GAS) 新規のDNAメチル転移酵素であるDnmt3aおよびDnm3bの構造-機能解析
47 GORBUNOVA Vera	イスラエル	マギル大学 (モントリオール)	加	ペイトー医科大学 (ヒューストン)	米	(En Li) 複製した老化を制御する遺伝子の同定
48 LACROIX Emmanuel	ベルギー	EMBL (ハイデルベルグ)	独	カリフォルニア工科大学 (バサティナ)	米	(Olivia M. PEREIRA-SMITH) 進化的なタンパク設計を促進するためのコンピュータによる遺伝子組み換え実験
49 CIRUNA Brian	加	トロント大学	加	ニューヨーク大学医学校	米	(Frances ARNOLD) ゼブラフィッシュにおける原腸形成および結節性シグナリング
						(Alexander SCHIER)

HFSP第12事業年度長期フェローシップ助成対象者（仮訳）

50 DAVY Alice	仏	カーネギー大学	加	フレッド・ハッチソン ガン研究センター(シアトル)	米	新脈管形成を調節するマルチグナリング経路の交差路で膜を貫通するリン (Philippe SORIANO)
51 PORESTIER Claire-Lise	仏	マルセイユ医科大学	仏	プリンストン大学	米	T細胞抗原受容体による糖脂質の認知 (Albert BENDELAC)
52 LOPEZ Xabier	スペイン	ルイ・パスツール大学 (ストラスブール)	仏	オックスフォード大学	英	ルプテンを標識とするアミドの加水分解の向上 (William Graham RICHARDS)
53 CUVIER Olivier	仏	ジュネーブ大学	スイス	コールドスプリングハーバー 研究所	米	in vitroおよびin vivoでのヒト・コンデニン複合物の機能的解離と再構成 (Tatsuya HIRANO)
54 JOVINE Luca	伊	MRC分子細胞学 研究所(ケンブリッジ)	英	マウント・サイナイ医学校 (ニューヨーク)	米	哺乳動物の受精タバクに関する構造研究 (Paul M. WASSARMAN)
55 LEGOOD Jessie Ann	英	アルバート大学 (エドモントン)	加	ISREC	スイス	SPC1と4種類の活性相関物質による胚葉形成を伴う軸索特定化の調整 (Daniel CONSTAM)
56 SULLIVAN James A.	英	ケンブリッジ大学	英	エール大学 (ニューヘブロン)	米	光形態形成抑制体であるCOP1の作用調整におけるCOP9シグナロームの役割 (Xing-Wang DENG)
57 VERSELE Matthias	ベルギー	ルーベン・ヘーベルアイス 大学	ベルギー	カリフォルニア大学 バークレー校	米	酵母セプチンの機能および構造 (Jeremy W. THORNER)